

まとまった文章等を記述する問題の採点誤りの問題別集計

1 平成 27 年度

教科	誤字・脱字 見落とし	指定語句等 見落とし	採点上の 注意の適用 誤り	その他	合計
英語	7	1	1	0	9
国語	8	2	9	1	20
数学	16	0	8	0	24
理科	2	0	4	0	6
社会	1	5	1	0	7
合計	34	8	23	1	66

2 平成 28 年度

教科	誤字・脱字 見落とし	指定語句等 見落とし	採点上の 注意の適用 誤り	その他	合計
英語	4	1	10	0	15
国語	22 + 1	8 + 1	4	0	34 + 2
数学	9	0	3	0	12
理科	7	0	1	0	8
社会	54	2	2	0	58
合計	97	12	20	0	129

(国語の+数字は定時制の問題における誤りの数)

各問題における、中間点のつけ方、それに係るミス状況について（英語）
平成 27 年度

問題	内容	配点
問 1	<p>(ウ) 英文を聞いて、「なぜ、湯のみ茶碗がよいと考えたか」の理由について英語で書く問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●綴り字の誤りを見逃していた→ 2 件 (例) useful を usuful としていた remember を remenber としていた ●符号に係る誤りを見逃していた→ 1 件 (例) ピリオド落ち 	<p>4 点満点 中間点はなし。</p>
問 5	<p>(イ) 「日本に半年滞在している留学生の日本語がうまくなるためのアドバイス」を英語で書く問題</p> <p>分析結果 採点誤りは 1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●語数条件を満たしていないものを正答としていた→ 1 件 (例) 6 語以上で書くところ、5 語で書いていた 	<p>4 点満点 中間点は 2 点。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法・語法上の誤り、綴り字の誤り、文字及び符号に係る誤りは 2 点減点。
問 6	<p>(ア) 絵を見て、「ある日のタクの様子」についての英文を書く問題</p> <p>分析結果採点誤りは 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●語法上の誤りがあるものを正答としていた→ 1 件 (例) 不定冠詞 a が抜けていた ●綴り字の誤りを見逃していた→ 1 件 (例) guitar を guiter としていた <p>(イ) 絵を見て、「三ヶ月後の出来事」についての英文を書く問題</p> <p>分析結果採点誤りは 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●綴り字の誤りを見逃していた→ 3 件 (例) months を momths としていた (例) played を playd, palyed としていた 	<p>4 点満点 中間点は 2 点。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法・語法上の誤り、綴り字の誤り、文字及び符号に係る誤りは 2 点減点。

平成 28 年度

問題	内容	配点
問 5	<p>(ア) 「写真を撮ってもらう人を探していることに気が付いた時に相手に何と声をかけるか」という問題</p> <p>分析結果 採点誤りは 1 件</p> <p>● 「写真を撮りましょうか？」のように申し出る表現が正答例として考えられるところ、「写真を撮ってくださいますか？」と相手に依頼する表現を使ったものを正答としていた→ 1 件</p> <p>(例) Would you take a picture ?</p> <p>(イ) 「新しく中学に入学してくる新 1 年生に、よい中学校生活を送るためのアドバイスをするとしたらあなたは何かと言うか」を英語で書く問題</p> <p>分析結果 採点誤りは合計 7 件</p> <p>● 正しいものを誤りとしていた→ 3 件</p> <p>(例) in (their) junior high school の表現で、their が不在のものは誤答と判断していた。</p> <p>● 綴り字の誤りを見逃していた→ 2 件</p> <p>(例) their を thier と書いていた</p> <p>friends を friennds と書いていた</p> <p>● 語数条件を満たしていないものを正答としていた→ 1 件</p> <p>(例) 6 語以上で書くところ、5 語で書いていた。</p> <p>● 語法上の誤り (主語の取違い) を見逃していた→ 1 件</p> <p>(例) They should take care of new first-year students.</p> <p>→ 今度入学する新入生について記述すべきところ、クラスの生徒について記述していた</p>	<p>4 点満点</p> <p>中間点は 2 点。</p> <p>・ 文法・語法上の誤り、綴り字の誤り、文字及び符号に係る誤りは 2 点減点。</p>

<p>問 6</p>	<p>(ア) 絵を見て「ヒロシが母親に頼んだこと」についての 英文を書く問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●採点上の注意の適用の不徹底 (by car の抜けを当初誤答と扱い、途中で語法上の誤りによる減点扱いに変更したが、遡っての全ての答案の点検が徹底しなかった) →3件 (例) Will you go to the station with me (by car) ? ●文全体の内容に支障がある誤りについて正答としていた →1件 (例) Will you take me (to) the station with me ? →to が落ちていることで、意味をなさない <p>(イ) 絵を見て「三時前の様子」についての英文を書く問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●語法上の誤りがあるものを正答としていた→1件 (例) I was able to arrive at the station. →正しくはIではなく he ●符号の誤りがあるものを正答としていた→1件 (例) ピリオド落ちの見逃し ●単語のスペルのミスを見逃し、正答としていた →1件 (例) Hiroshi を Hirosh と書いていた 	<p>4点満点 中間点は2点。</p> <p>・文法・語法上の誤り、綴り字の誤り、文字及び符号に係る誤りは2点減点。</p>
------------	---	---

各問題における、中間点のつけ方、それに係るミス状況について（国語）

平成 27 年度

問題	内容	配点
問三	<p>(イ) 「事態は一変した。」内容について、原因を含めて説明する問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 7 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文末指定の誤りを見逃していた→ 2 件 (例) 「ということ」→「減ってしまったこと。」 →「打ち切られた」 ●脱字を見逃していた→ 1 件 (例) 「したことで」→「した<u>こ</u>で」 ●表現の問題（主語の重複）を見逃していた→ 3 件 (例) 「竹の仕事が…注文が打ち切られた。」 「竹の仕事が…仕事が減った。」 「竹の仕事が…仕事量は激減した。」 ●内容の誤りを見逃していた→ 1 件 (例) 「石油化学製品になり仕事量が激減した」 →石油化学製品の「台頭、出現、登場」に類する語句が欠けている。 	<p>6 点満点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤字・脱字は数に関わらず 2 点減点。 ・表現に問題があるが許容できると判断した場合は数に関わらず 2 点減点。 (参考) <p>* 「一変した」内容と原因に触れていること。</p>
問四	<p>(オ) 「わたしは、はっとした。」理由について、説明する問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●誤字を見逃していた→ 1 件 (例) 「視る」→ころもへんで表記した。 ●表現の問題を見逃していた→ 1 件 (例) 「視えているかもしれない」 →正答の「・・・ちがいない」と比較し、断定の度合いが異なる。 	<p>6 点満点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤字・脱字は数に関わらず 2 点減点。 ・表現に問題があるが許容できると判断した場合は数に関わらず 2 点減点。 (参考) <p>* 内容は次の二点に触れていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「後者の答え」の内容。 ・「はっとした」理由。
問五	<p>(イ) 「私たちが意識すべきこと」「具体的な二つの取り組み」に触れながら話し合いの内容をまとめる問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 11 件</p>	<p>8 点満点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤字・脱字は数に関わらず 2 点減点。 ・表現に問題があるが許容できると判断した場合は数に関わらず 2 点減点。

	<p>●中間点の記載ミス→1件 (例) 2点減点で△6と記載すべきところ、減点のメモとして余白に記載した-2に引きずられて得点を△2と記載してしまった</p> <p>●誤字・脱字を見逃していた→6件 (例) 「持ち込まず」 → 「持ち<u>入</u>まず」 「取り組むべきだ。」 → 「<u>取</u>込むべきだ。」 → 「<u>取</u>組むべきだ。」 → 「<u>取</u>りくむべきだ。」 → 「<u>取</u>り込むべきだ。」 2件</p> <p>●表現の問題を見逃していた→4件 (例) 「など」の使用 → 「管理するなど取り組む」 → 「持ち込むなどに取り組む」</p>	<p>(参考) *内容は次の三点に触れていること 「自然界で多様な生物がバランスを保って生きていることを意識する」こと。 「外来生物をむやみに持ち込まない」こと。 「外来生物を飼うときは責任をもって管理する」こと。</p>
--	---	---

平成 28 年度

問題	内容	配点
問三	<p>(ウ) 「夏樹」の気持ちを記述する問題</p> <p><u>分析結果</u> 採点誤りは合計で 12 件</p> <p>●誤字・脱字を見逃していた→6件 (例) 「発言しなければ」→「発言しな<u>け</u>れは」 「自信」 → 「自<u>身</u>」 「気持ち」→「気<u>特</u>ち」 「鑑賞点」→「賞」を一画多く書く 2件 「ならないので」→「なら<u>な</u>ので」</p> <p>●文末指定の誤りを見逃していた→5件 「という気持ち。」→「とする気持ち。」 3件 →「でいる気持ち。」 →「あせている気持ち。」</p> <p>●句点の脱落を見逃していた→1件</p>	<p><u>6点満点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤字・脱字は数に関わらず2点減点。 ・表現に問題があるが許容できると判断した場合は数に関わらず2点減点。 <p>(参考) *内容は次の二点に触れていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真名と瑞穂先輩は「(発言に)自信がない」こと。 ・自分(夏樹)が発言しなければならないこと。
問四	<p>(エ) 「プロテウスの生き方」を説明する問題</p> <p><u>分析結果</u> 採点誤りは合計で 14 件</p> <p>●誤字・脱字を見逃していた→10件 (例) 「アイデンティティ」 → 「アイデン<u>テ</u>ィ」</p>	<p><u>6点満点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤字・脱字は数に関わらず2点減点。 ・表現に問題があるが許容できると判断した場合は数に関わらず2点減点。

	<p>→「アン<u>デ</u>ンティティ」2件 →「アイ<u>デ</u>アンティティ」 →「アン<u>デ</u>ィティティ」 →「アイ<u>デ</u>ィンティティ」 「裕」の誤字 →ネ（しめすへん）2件 「価値観」→「価<u>直</u>観」 「可能性」→「<u>司</u>能性」</p> <p>●内容等の誤りを見逃していた→4件 触れるべき三つのポイントに触れていない 4件</p>	<p>(参考) *触れなければならない点を採点上の注意、正答例で示している。</p>
問五	<p>(イ) 海外の人たちと交流するために「意識しなければならぬ」ことを話し合いの内容をふまえながらまとめる問題</p> <p><u>分析結果</u> 採点誤りは合計で8件</p> <p>●誤字・脱字を見逃していた→5件 「意思」→「意<u>志</u>」2件 「価値観」→「価<u>直</u>観」 →「価 <u>イ+置</u> (にんべんに置) 観」 「意識をもつ」→「意<u>識</u>を持つ」</p> <p>●文末指定の誤りを見逃していた→3件 「意識をもつべきだ。」 →「意識するべきだ。」2件 →「意識しなければならない。」</p>	<p><u>8点満点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤字・脱字は数に関わらず2点減点。 ・表現に問題があるが許容できると判断した場合は数に関わらず2点減点。 <p>(参考) *内容は次の三点に触れていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「英語を勉強することはもちろん、英語以外の言葉にも興味を広げる」こと。 ・「日本の文化を理解する」こと。 ・「国による文化や価値観の違いをふまえて意思を伝え合う」こと。

各問題における、中間点のつけ方、それに係るミス状況について（数学）

平成 27 年度

問題	内容	配点
問 5	<p>(イ) 2次方程式の文章題・途中式を含め記述する問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 5 件</p> <p>●中間点 4 点を与えることとしている、同値な方程式を見過ごしていた→ 5 件</p>	<p>8 点満点</p> <p>方程式（同値な式も可）を正しく記述して 4 点、方程式の 2 解を求めて 2 点、問題にあった答えを記述して 2 点。</p> <p>（採点基準以外の疑問点は、減点の設定等を含め校内で統一すること。）</p>
問 7	<p>2つの三角形の相似の証明を記述する問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 19 件</p> <p>●誤字等を見逃していた→16 件 （例）「弧 AC」→「孤 AC」</p> <p>●証明過程の記述不足を見過ごしていた→ 3 件 （例）「$=90^\circ$」の脱落により論理が繋がらない</p>	<p>10 点満点</p> <p>1 組目の角の相等を示して 3 点、2 組目の角の相等を示して 5 点、結論を記述して 2 点。</p> <p>（採点基準以外の疑問点は、減点の設定等を含め校内で統一すること。）</p>

平成 28 年度

問題	内容	配点
問 5	<p>(イ) 文章から条件を読み取ってグラフをかく問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは 1 件</p> <p>●正答を見過ごしていた→ 1 件</p>	<p>4 点満点</p> <p>中間点なし。</p>
問 7	<p>2つの三角形の相似の証明を記述する問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 11 件</p> <p>●誤字等を見逃していた→ 9 件 （例）「円周角」→「円角角」、「\angle」記号の脱落</p> <p>●証明過程の記述不足を見過ごしていた→ 2 件 （例）「①、②より」と記述すべきところ、「②より」としており論理が繋がらない</p>	<p>10 点満点</p> <p>1 組目の角の相等を示して 2 点、2 組目の角の相等を示して 6 点、結論を記述して 2 点。（2 組目の難易度が H27 より上がっているので、配点を変更している）</p> <p>（採点基準以外の疑問点は、減点の設定等を含め校内で統一すること。）</p>

各問題における、中間点のつけ方、それに係るミス状況について（理科）

平成 27 年度

問題	内容	配点
問 5	<p>(ウ) アルミニウム製のパイプが磁界から受ける力によって斜面の上方に動くようにするには〔実験 2〕の何をどのようにかえればよいかを 35 字以内の一文で記述する問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 誤字を見逃していた→ 1 件 ● 句点の脱落を見逃していた→ 1 件 ● 内容の誤り（必要な二つの内容のうち、一つの内容が欠落）を見逃し、中間点 3 点にすべきところを正答にしていた→ 1 件 <p>(例) 「電圧をある大きさより大きくする。」 →磁界の向きが逆になるようにする、という趣旨が記述されていない</p>	<p>6 点満点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 つの要素の内容がともに十分な場合は正答 6 点 ・ 1 つの要素の内容が不十分な場合は 3 点減点 ・ 誤字・脱字、句読点に係る誤りがあれば全体から 1 点減点 <p>正答 6 点 2 つの要素とも○</p> <p>中間点 5 点 2 つの要素とも○ + 誤字等</p> <p>中間点 3 点 1 つの要素のみ○</p> <p>中間点 2 点 1 つの要素のみ○ + 誤字等</p> <p>誤答 0 点 2 つの要素とも×</p>
問 7	<p>(ウ) 選んだ種子とのかけ合わせを行ったときにつくられる種子について 15 字以内で記述する問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ● X、Y がともにできていたのに中間点 2 点を与えていなかった→ 2 件 ● X、Y がともにできた場合の中間点 2 点を、中間点 3 点と勘違いした→ 1 件 	<p>6 点満点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ X Y Z すべてできて正答 6 点 ・ X Y がともにできて 2 点 ・ X Y がともにできた場合のみ Z について加点 ・ Z の内容が十分であれば 4 点、誤字・脱字等の誤りがあれば 1 点減点 <p>正答 6 点 X Y Z すべてできている</p> <p>中間点 5 点 X Y Z は○ + Z の誤字等</p> <p>中間点 2 点 X Y が○ + Z の内容が×</p> <p>誤答 0 点 X Y が×</p>

平成 28 年度

問題	内容	配点
問 5	<p>(ウ) 浮力の大きさが重さと体積のどちらに関係するかを確認するためにどのようなおもりを用意すればよいかを 20 字以内で記述する問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 誤字を見逃していた → 2 件 (例) 「体積」 → 「体績」 ● 内容の誤りを見逃し、誤答とすべきところを誤字の減点としていた → 1 件 (例) 「同じ質量でより小さい体績の」 → 重さが同じで体積が大きいとすべき 	<p>4 点満点</p> <p>○ 記述問題 3 問とも次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解答すべき要素 (1 つ) の内容が十分な場合、正答 4 点 ・ 誤字・脱字、句読点に係る誤りがあれば 1 点減点 ・ 配点は次の 3 種類 <p>正答 4 点</p> <p>内容が ○</p>
問 6	<p>(ウ) (i) 20℃ に冷却しても物質 B が水溶液中に出てこない理由を 20 字以内で記述する問題</p> <p>分析結果</p> <p>○ 採点誤りは合計で 4 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 誤字を見逃していた → 4 件 (例) 「状態」 → 「状能」 「達」 → 横棒が一本少ない 	<p>中間点 3 点</p> <p>内容が ○ + 誤字等</p> <p>誤答 0 点</p> <p>内容が ×</p>
問 7	<p>(イ) (i) [実験 2] で確認できないことを 20 字以内で記述する問題</p> <p>分析結果</p> <p>採点誤りは合計で 1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 誤字を見逃していた → 1 件 	

各問題における、中間点のつけ方、それに係るミス状況について（社会）
平成 27 年度

問題	内容	配点
問 2	<p>(イ) 岡山県と近隣各県の高速道路と国道を合わせた道路実延長のうち高速道路の占める割合を、白地図に書き入れる問題</p> <p><u>分析結果</u> 採点誤りは合計で 1 件 ●書き入れ方の誤りを見逃していた→ 1 件</p>	<p><u>4 点満点</u> 中間点なし</p>
問 5	<p>(イ) (i) 日本国憲法のしくみ(三権分立)について 25 字以内で記述する問題</p> <p><u>分析結果</u> 採点誤りは合計で 4 件 ●指定語句欠落を見逃していた→ 4 件</p>	<p><u>4 点満点</u> *指定語句が欠落していたり、内容が不十分な場合は誤答。 (参考) *指定語句の条件 「分立」「防止」という語を用いること。</p>
問 6	<p>(キ) 女性の就業における現状と、それに対する政府の考えと対応について 85 字以内で記述する問題</p> <p><u>分析結果</u> 採点誤りは合計で 2 件 ●指定語句欠落を見逃していた→ 1 件 ●誤字を見逃していた→ 1 件 「児童」→「児重」</p>	<p><u>8 点満点</u> *指定語句が欠落していたり、必要な二つの内容のうち一つが不十分であれば、4 点減点。誤字脱字は数に関わらず 2 点減点。 (参考) *指定語句の条件 「育児」「保育所」という語を用いること。</p>

平成 28 年度

問題	内容	配点
問 1	<p>(カ) ザンビアにおけるモノカルチャー経済の現状と対策について 75 字以内で記述する問題</p> <p><u>分析結果</u></p> <p>採点誤りは合計で 40 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 誤字を見逃していた→38 件 (例) 「ザンビア」→「サンビア」 「輸出」→「論出」 「開発」→「関発」 ● 指定語句欠落を見逃していた→2 件 	<p><u>8 点満点</u></p> <p>指定語句*が欠落していたり、必要な二つの内容のうち一つが不十分であれば、4 点減点。誤字脱字は数に関わらず 2 点減点。 (参考) *指定語句の条件 「変動」という語を用いること。</p>
問 2	<p>(カ) (i) 東北地方各県の、平年収量に対する 1980 年の水稲の収穫量の割合を、白地図に書き入れる問題</p> <p><u>分析結果</u></p> <p>採点誤りは合計で 1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 書き入れ方の誤りを見逃していた→1 件 	<p><u>4 点満点</u></p> <p>中間点なし</p>
問 6	<p>(エ) 日本人の寿命の推移の傾向と政府の対策を読み取り、65 字以内で記述する問題</p> <p><u>分析結果</u></p> <p>採点誤りは合計で 17 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 誤字・脱字を見逃していた→13 件 (例) 均(5 件)、寿(3 件)、健(1 件)、善(1 件)、療(1 件)、「少なく」→「小なく」(1 件)、「広がって」→「広って」(1 件) ● 句点の脱落等を見逃していた→3 件 ● 内容の誤り (誤答としていたが、必要な二つの内容のうち、一つの内容は十分なので中間点 4 点)を見逃していた→1 件 	<p><u>8 点満点</u></p> <p>指定語句が欠落していたり、必要な二つの内容*のうち一つが不十分であれば、4 点減点。誤字脱字は数に関わらず 2 点減点。 (参考) *必要な二つの内容 ①平均寿命と健康寿命の差が拡大している傾向にあること。 ②課題を改善することで、社会保障負担が減少するなどの財政的な効果があること。</p>